

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	景観論 [Landscape Theory]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	
科目コード	710064	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	平岡 直樹			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(2) DP3(5)		
授業概要	<p>本授業の目的は、まず、景観に関する基礎的概念を身につけることです。続いて、人間に景観の美しさを感じさせる背景にある規則性を認知 科学的な視点から考察します。そして、文化としての景観の理解を深め、心地よい空間や環境をつくりだすために、どのように操作すればよいか検討します</p> <p>単なる技術論ではなく、景観を評価する眼を養うことを目指します。また造園と景観のかかわりも考えます。日本の景観のみを対象とするのではなく、広く世界の景観を見渡し、国際的な視野で学びます。</p> <p>建設コンサルタント(都市計画及び地方計画部門)にて実務経験を有する教員が、景観の調査、計画に関する業務の実例について、写真や図版を用いながら解説します。</p>						
関連する科目	造園学概論、世界の庭園と歴史、自然緑地計画論を事前に、履修後は、都市緑地論、建築学概論を受講することが望まれます。						
授業の進め方と方法	毎回の授業にて、前回の授業の重要と考えられる項目についての小テストを行います。小テストの回答は次回の授業の冒頭に行います。小テストに備えて授業の後でしっかりと復習をしてください。授業は、景観に関わる基本理念を講義するとともに、造園分野に関係の深い事柄について示します。また、理解を容易にするために写真や図版をなるべく多く提示します。自分自身でも日常生活の中で類似的な景観に出会った時の参考となるでしょう。						
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 講義の内容、位置づけ、目的の説明 参考文献の紹介を行います。</p> <p>第2回 景観に関する基礎的概念 用語としての使い方や類似した用語までを学びます。</p> <p>第3回 人の視知覚能力と景観</p> <p>第4回 景観の種類と工学的把握 景観に関わる基礎的概念を学びます。</p> <p>第5回 景観の美しさとは何か？</p> <p>第6回 認知科学的アプローチ① 基礎的知識</p> <p>第7回 認知科学的アプローチ② 景観とのかかわり</p> <p>第8回 認知科学的景観の美 動物や人間のもつ性質から景観の特質を考えます。</p> <p>第9回 景観分析の基本的指標</p> <p>第10回 森林景観とフォレストスケープ</p> <p>第11回 色彩</p> <p>第12回 景観の法制度 景観分析の方法から法制度までを学びます。</p> <p>第13回 景観の基礎的調査+分析の事例①</p> <p>第14回 場所の記憶を活かした景観づくり+分析の事例②</p> <p>第15回 都市街路景観+分析の事例③ 景観計画や調さに不可欠な理念を学ぶと共に、景観分析の3事例を紹介します。</p>						
授業の到達目標	<p>1) 景観について体系的に学び、景観や風景の見方や考え方を身につけたのち、心地よい空間や環境が成り立っている要因を理論的に理解します。【専門分野の知識・理解】【専門分野のスキル】</p> <p>2) 景観にかかわる専門職業人として必要な基礎的知識や技術を学び、持続可能な循環型社会の実現に向けた課題発見と問題解決をはかる手がかりを身につけます。【課題発見・分析・解決力】【実践力】</p>						
授業時間外の学修	第1回目の授業で示す参考図書など景観や風景に関する資料を授業前に読んでおいてください。授業後に理解が曖昧な時は再度精読してください。また、自らの景観についての感性を深め、景観の社会的意義を理解するために、身近な都市や自然地に赴き、その景観成り立ちや社会的評価などについて考察を深めてください。予習復習2時間程度が必要です。						
課題に対するフィードバック	小テストは、採点後に返却し、次回の授業にて解説をします。レポートは採点後に返却します。必要がある時はコメントします。			評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 1) 小テスト及びレポート20点 2) 定期試験80点		
テキスト	授業中において配布する資料及び紹介又は指示する書籍						
参考書	第1回目の授業(ガイダンス)において紹介します。主なものの一部を以下に示します。①篠原修編・景観デザイン研究会『景観用語事典 増補改訂版』彰国社、2007②福井幸夫、空京子『社会基盤整備のための景観設計学 脳から環境の美しさを考える』コロナ社、2006						
備考	建設コンサルタント(都市計画及び地方計画部門)にて、自然環境の調査、計画に関する実務経験を有する教員が授業を担当します。						